

特別表彰を受け、チームメートらと記念撮影する馬淵史郎  
 監督＝前列左から2人目＝と寺地隆成選手＝同3人目  
 (須崎市の明德義塾高校野球道場)



## 「明德野球で世界一」を称賛

### 県高野連 馬淵監督、寺地選手を表彰

9月に台湾で行われた野球の「第31回WBSC U18(18歳以下)ワールドカップ(W杯)」で、高校日本代表を率いて悲願の世界一に導いた明德義塾高校の馬淵史郎監督(67)と、1番一塁で全9試合に出場した同校3年の寺地隆成選手(18)が19日、須崎市の同校野球道場で県高校野球連盟から特別表彰を受けた。

馬淵監督は2大会連続でW杯を指揮。3位に入った昨年のW杯の経験を生かし、堅守と機動力を軸とした「スモールベースボール」でパワーに勝る海外勢を退けた。

寺地選手は打率2割8分

6厘、出塁率4割1分2厘。安打数、打点、四死球でチーム2位の成績を残し、不動のリードオフマンとして初優勝に貢献した。

この日は、県高野連の谷村孝二会長らが「信念を貫き、日本の、明德の野球が世界に通用することを示した」と称賛。「日本の礼儀やマナー、野球に対する真摯な取り組みを世界に発信する監督の思いが込められた大会」と振り返り、記念盾を贈った。

表彰を受け、同校の寄本宏明校長は部員たちに「世界一の監督、先輩がいることを力に頑張って」とエール。馬淵監督が「基本を大

事にする明德野球で勝てたことが全国の高校球児のためにも良かった」と言え  
 ば、プロ入りを志望してい  
 る寺地選手は「W杯は将来  
 につながる貴重な経験。表  
 彰を今後の野球人生の励み  
 にしたい」と飛躍を誓って  
 いた。

2人は23日、県庁に浜田  
 省司知事を表敬訪問する。

(横田幸成)

2023年10月20日 高知新聞